

介護職員の現状

- 介護職員の就業形態は、非正規職員に大きく依存している。
- 介護職員の年齢構成は、介護職員（施設等）については、30～49歳が主流となっているが、訪問介護員においては、60歳以上が約3割を占めている。
- 男女別に見ると、介護職員（施設等）、訪問介護員いずれも女性の比率が高く、男性については40歳未満が主流であるが、女性については40歳以上の割合がいずれの職種も過半数を占めている。

1 就業形態

	正規職員	非正規職員	うち常勤労働者	うち短時間労働者
介護職員（施設等）	60.2%	38.7%	14.9%	23.9%
訪問介護員	20.3%	76.9%	10.5%	66.4%

注) 正規職員：雇用している労働者で雇用期間の定めのない者。非正規職員：正規職員以外の労働者（契約職員、嘱託職員、パートタイム労働者等）。
常勤労働者：1週の所定労働時間が主たる正規職員と同じ労働者。短時間職員：1週の所定労働時間が主たる正規職員に比べ短い者。
注) 介護職員（施設等）：訪問介護以外の指定事業所で働く者。訪問介護員：訪問介護事業所で働く者。
注) 調査において無回答のものがあるため、合計しても100%とはならない。
【出典】平成26年度介護労働実態調査（（財）介護労働安定センター）

2 年齢構成（性別・職種別）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
介護職員（施設等）	1.0%	18.6%	23.9%	23.0%	19.1%	12.3%
男性（23.6%）	1.0%	28.6%	34.6%	17.5%	9.6%	7.0%
女性（74.2%）	1.0%	15.3%	20.6%	24.8%	22.1%	14.0%
訪問介護員	0.2%	4.0%	11.0%	21.1%	26.5%	34.3%
男性（8.2%）	0.4%	12.6%	24.5%	17.7%	18.7%	23.9%
女性（89.6%）	0.2%	3.3%	9.7%	21.4%	27.2%	35.6%

注) 調査において無回答のものがあるため、合計しても100%とはならない。
【出典】平成26年度介護労働実態調査（（財）介護労働安定センター）を社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室において集計。